

# 評価結果概要版



令和4年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人フロンティア
事業所名称	松が丘高齢者在宅サービスセンター
事業所所在地	東京都中野区松が丘1丁目32番10号
事業所電話番号	03-5380-5761

## 事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)人としての尊厳を守る 2)在宅・施設福祉を基本とする生活支援 3)支援対象者を拡充しての福祉推進 4)地域を拡大しての事業展開

## 全体の評価講評

特に良いと思う点

**・地域ボランティアのつながりを深めて、利用者を楽しいひと時を提供すると共に、地域交流の機会を与えています**

事業所はコロナ感染症が拡大する以前からボランティアの方々とのつながりは深く、良好な関係を築いてきました。ボランティアの多くは地域の方で、フラダンス、アコーディオン演奏、紙芝居、シャンソンショーなど多様な演技を利用者に披露してきました。利用者は本物に触れることで楽しいひと時を過ごすだけでなく、心身ともにリフレッシュし気分転換にもつながっていることでしょう。コロナ禍で外部の人との交流が厳しくなる中でも、レクリエーションを中心にボランティアを可能な範囲で受け入れて地域の方々とは触れ合える機会を確保しています。

**・フロアに隣接した厨房で作られた、季節感のある美味しく温かい食事を利用者は楽しみにしています**

事業所の厨房で、季節感のある栄養価の高い、美味しく温かい食事を作り提供しています。利用者が主食を選択できるような献立も用意し、メインのおかずを魚か肉など選べるようにしています。また、また安全に食事が摂れるよう、さまざまな食事形態を用意しており、通常の食事から、利用者の嚥下能力に応じて段階的に形態を選択できるようになっています。急な食事内容の変更にも対応しており、「昨日、入れ歯を新しくしたからお粥にして」等の対応も可能となっています。利用者は食事を楽しみにしており、食欲増進につながっています。

**・一般浴と機械浴を用意し、利用者の状況に応じた入浴サービスを提供しています**

事業所には大きな浴槽のある一般浴と座位のまま入れる機械浴が用意されており、利用者の状況に応じて入浴を実施しています。自力で立ち上がることができる人は一般浴を利用して、広々とした浴室は利用者にも喜ばれています。入浴に拒否がある場合には、無理強いせず時間を置いたりタイミングを見て声をかけています。コロナの感染が増えていた時期には一時入浴サービスの回数を減らしたり中止していましたが、その際は清拭で対応をしました。家族からの要望に応え、入浴の希望がある利用者には極力入っていただけるよう入浴時間を調整しています。

さらなる改善が望まれる点

**・個々の利用者のアセスメントについて、支援する職員で理解を深めることが期待されます**

通所介護計画書には利用者の生活状況や生活歴、ADL（日常生活動作）、利用者と家族の意向、趣味嗜好等を丹念に聴き取り、記録し反映しています。しかし日々の記録には職員が利用者への支援を通じて感じていることや、行った支援について書かれていますが、その裏付けとなる効果や目標達成については、あまり記録できていないようです。利用者のアセスメントの情報を、職員が理解して支援に活かすことが必要です。個々の職員のスキルにもよりますが、利用者個人のアセスメントの理解について学ぶ機会を作られると良いでしょう。

**・新型コロナの収束後、さらに活動内容を広げたり、世代間交流や地域の人との交流をより進めることを期待します**

事業所ではフラダンス、アコーディオン演奏、紙芝居などさまざまなボランティアを受け入れています。またレクリエーションやアクティビティ等も工夫をしながら行っていますが、活動内容が限られていることは否めません。地域の子どもの交流や地域の施設などの利用も十分ではない状況です。今後新型コロナウイルス感染症の収束を見込んで、近隣の保育園などと連携し、世代間交流を活発に行ったり、利用者の生活の幅を広げていくことを期待します。

・ **利用者と職員の命を守る事業所独自の事業継続計画（BCP）の策定が急務となっています**

法人全体のリスクマネジメント委員会等の参加や、区と災害協定を結ぶなど災害に対しての危機意識は高いものがあります。しかしながら、事業継続計画（BCP）は法人全体のBCPマニュアルが策定されていますが、事業所独自のもは現在作成中です。2024年から介護事業者に対してもBCPの策定、研修、訓練等が義務化されることになりました。医療等と同じく「有事の時にこそ継続が求められる事業」と位置づけられたことが背景にあるようです。感染症や災害から利用者と職員を守り、介護サービスを継続するためにも策定が急がれます。

## 事業者が特に力を入れている取り組み

・ **多彩なレクリエーションや趣味活動で利用者の生活の質を向上させています**

事業所では様々なレクリエーションや趣味活動を職員が中心となり企画・運営され、利用者と一緒に取り組んでいます。身体を使った「すごろく」「輪っか拾い」「玉入れ」「缶倒し」などのゲームは皆で盛り上がっています。手先を使った「壁飾り」「折り紙・手芸」などは創作意欲を高めています。「クイズ」やその日に因んだことを皆で考えていくことなどは「頭の体操」になっているようです。近隣の歴史民俗資料館に昔の遊びの展示を見学するなど、コロナ禍で活動が制限される中でも多彩な活動を通じて利用者の生活の質を向上させています。

・ **機能訓練指導員の個別機能訓練マニュアルで他職種でも訓練をできるようにしています**

事業所には利用者の体力や機能の低下を防ぐ訓練や日常生活に必要な基本動作を得るために専門の訓練・指導を行うPT（機能訓練指導員）がいますが、常駐職員ではありません。そのため定期的に利用者の状態にあった訓練をするのが困難な状況です。そこで、PTが不在でも他の看護職員などでも専門的な対応ができるようにPTが「個別機能訓練マニュアル」を作成しています。利用者別に、基本プログラムや動的バランス能力向上、留意事項等を写真入りで分かり易くまとめて、他の職種でも安全に行える訓練であれば、個別対応できるようにしています。

・ **利用者一人ひとりが快適に自分らしく過ごせるような支援をしています**

デイサービスは利用者の生活の一部であると考え、家庭生活との連続性を十分に重視して自分らしく過ごせるような支援の提供に努めています。利用者が興味のあることや生活習慣、性格などを十分に把握した上で利用者個々の状況・状態や希望に応じた支援を行っています。また、利用者の主体性や役割の重要性を重視し、意欲や興味を引き出せるような支援にも積極的に取り組んでいます。職員による細やかな支援と明るく温かみあるコミュニケーションにより、利用者が自分らしく、安心して居心地よく過ごすことができます。

## 利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

19/39

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	78.0%	21.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	94.0%	5.0%		
	どちらともいえない：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
3. 利用中に興味・関心を持てる行事や活動があるか	73.0%	10.0%	5.0%	10.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	84.0%	10.0%	5.0%	
	無回答・非該当：0.0%			
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	84.0%	10.0%	5.0%	
	無回答・非該当：0.0%			
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	78.0%	15.0%	5.0%	
	いいえ：0.0%			
7. 職員の接遇・態度は適切か	89.0%	10.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	89.0%	10.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	84.0%	5.0%	10.0%	
	いいえ：0.0%			
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	89.0%	10.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
11. 利用者のプライバシーは守られているか	84.0%	5.0%	5.0%	5.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	78.0%	10.0%	5.0%	5.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	73.0%	26.0%		
	いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%			
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	89.0%	5.0%	5.0%	
	いいえ：0.0%			
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	36.0%	26.0%	10.0%	26.0%